

HVS-6000/6000M セットアップガイド

2120ROU/2240OU/2240OUA/3320OU

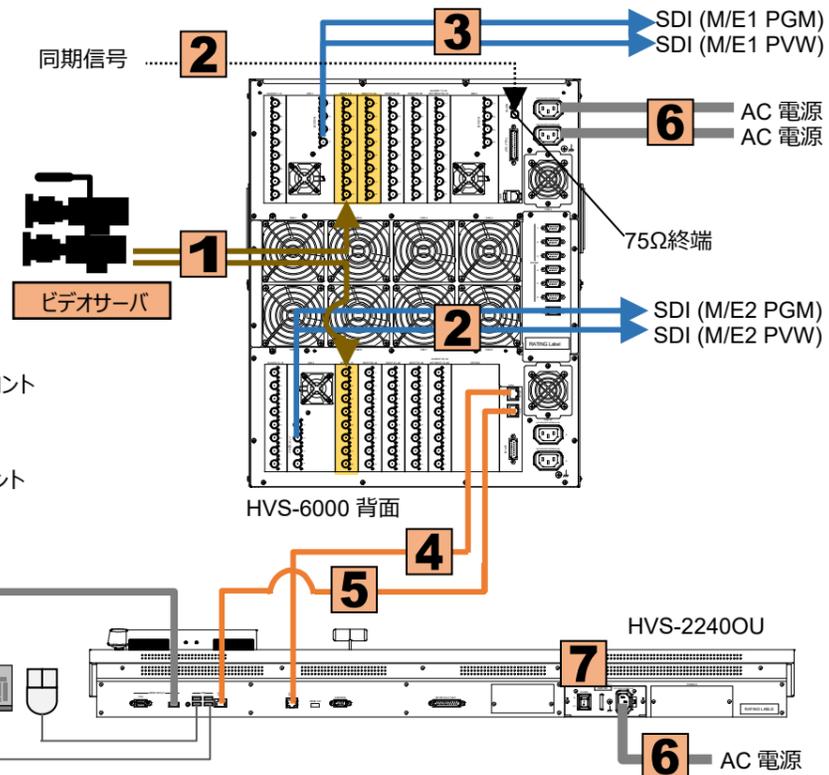


24h
365 days サービスセンター 03-3446-8575

HVS-6000/M 同梱品	数量	OU 同梱品	2120	2240	3320
AC 電源ケーブル	1	LAN ケーブル	2	2	2
USB メモリ (取扱説明書)	1	AC 電源ケーブル	-	1	1
セットアップガイド (本書)	1	AC アダプタ	1	-	-
		バスボタン仕切り板	-	10	21
		ユーザボタンカバープレート	-	-	10

1. 接続

- 映像 (SDI 信号) を入力します。
- 同期信号を入力します。ループスルーしないときは、他方の端子を 75Ω で終端します。
- 合成出力 (SDI 信号) を後段の機器に接続します。



- OU 付属のケーブルを使い HVS-6000/6000M の LAN1 (MAIN) とコントロールパネルの LAN1 (MAIN) を接続します。
- OU 付属のケーブルを使い HVS-6000/6000M の LAN2 (SUB) とコントロールパネルの LAN2 (SUB) を接続します。

- 付属の電源ケーブルを使い HVS-6000/6000M とコントロールパネルに電源を供給します。
- コントロールパネルの背面にある電源スイッチを ON にします。
- HVS-6000 前面にある電源スイッチを ON にします。

3. システムモードの選択

- システムを起動すると、コントロールパネルにメニューが表示されます。メニュー画面の上部で **SETUP** タブをタップします。
- SYSTEM. FORMAT** ボタンを押し、[SETUP > SYSTEM > FORMAT]メニューを開きます。
- F1** を回し、スイッチで使用するビデオ信号のフォーマットを選択し **F1** を押します。
- F2** を回し、アスペクト比を選択します。
- REBOOT** ボタンをタップし、[SETUP > SYSTEM > REBOOT] メニューを開きます。
- F1** を回して REBOOT を EXEC に変更し、**F1** を押します。確認ダイアログで **YES** をタップします。再起動後、指定したフォーマットに切り換わります。

使用上の注意

- 指定電圧以外の電源電圧は使用しないでください。
- 必ずアースをとってください。
- 電源コードのプラグおよびコネクタはしっかりと差し込んでください。
- 基板等の取付は、必ず電源を切ってから行ってください。
- パネルやカバーを外したままで保管や使用しないでください。
- 高温多湿、塵埃が多い、振動がある場所などには設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 内部に水や異物を入れないでください。万一入った場合は、すぐ電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて内部から取り出すか、販売代理店、サービスセンターへご相談ください。
- 電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。

4. 出力映像を選ぶ

M/E1PGM の映像を選ぶ

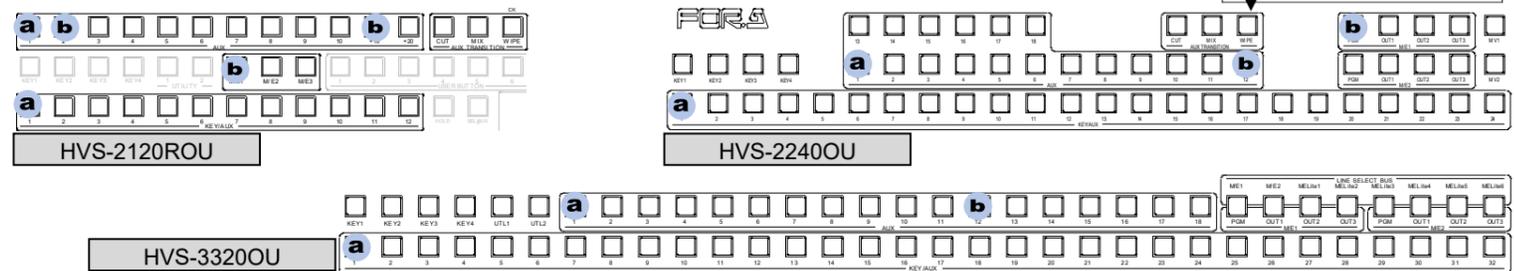
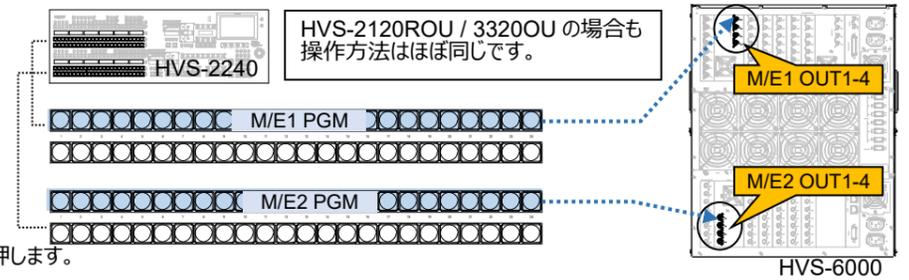
M/E1PGM 列のボタンを押します。ボタンのソース映像が **M/E1 OUT1** 出力に表示されます。

M/E2PGM の映像を選ぶ

M/E2PGM 列のボタンを押します。ボタンのソース映像が **M/E2 OUT1** 出力に表示されます。

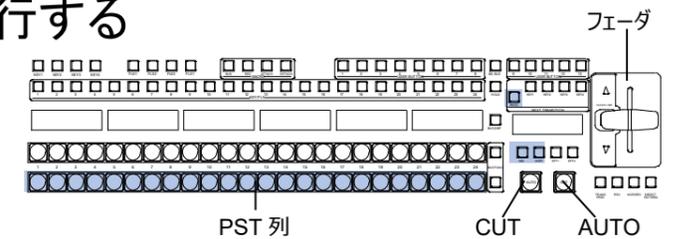
AUX 出力の映像を選ぶ

- AUX1 に INPUT1 映像を出力するには、**AUX1**、次に **1** を押します。
- AUX12 に M/E1PGM 映像を出力するには **AUX12**、次に **M/E1PGM** を押します。(HVS-2240OU)
AUX+10 を押しながら **AUX2** を素早く二度押ししてメニューを表示し、**M/E1** ボタンを押します。(HVS-2120ROU)
AUX12 を素早く二度押ししてメニューを表示し、**F2** を回して **M/E1PGM** を選択します。(HVS-3320OU)



5. バックグラウンドのトランジションを実行する

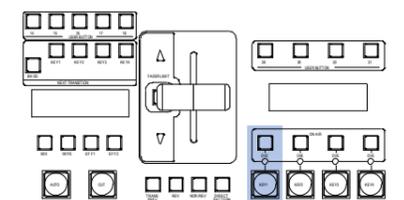
- PST 列のボタンを押し、ネクスト映像を選びます。
 - CUT** を押しと CUT トランジションが実行されます。**(BKGD)** 点灯) **MIX**、次に **AUTO** を押しと MIX トランジションが実行されます。**WIPE**、次に **AUTO** を押しとパターントランジションが実行されます。フェーダを端から端へ動かして、トランジションを実行することもできます。
- ※ 他のパターンを選ぶときは、**WIPE** をすばやく 2 度押ししてメニューを表示します。
F3 を回してパターン番号を選びます。
- ※ トランジションを実行すると、バックグラウンドはネクスト映像に切り替わります。映像が切り替わると、PGM 列と PST 列の映像信号もスイッチします。



6. KEY のトランジションを実行する

M/E2 の KEY1 を使いロゴを表示する手順を説明します。IN11、IN12 にロゴの FILL/KEY 信号が入力されているものとします。

- 左上の **M/E1,2 DSK**、次に **M/E2 KEY1** を選択して [M/E1,2 DSK > M/E2 > KEY1 > SRC/INS] メニューを表示します。
 - F1** を回し **TYPE** 項目を **BUS** に設定します。
 - F3** を回して **INSERT SIGNAL** (fill) 項目で **IN11** を選択します。**F4** を回して **SOURCE SIGNAL** (key) 項目で **IN12** を選択します。
 - KEY1 ON AIR** を押しと、KEY1 が PGM 映像にカットインします。(KEY1 が画面に表示されているとき、**KEY1 ON AIR** が点灯します。)
 - KEY1 AUTO** を押しと、KEY1 が PGM 映像からフェードアウトします。
- ※ KEY1-4 は BKGD トランジション部でもトランジションを実行できます。



メールアドレスを登録すると、取扱説明書 / 各種資料がダウンロードできます。

<https://www.for-a.co.jp/>



HVS-6000/6000M 3355OU/OUA

セットアップガイド

HVS-6000/M 同梱品
電源ケーブル
ラック取付金具
USB メモリ (取扱説明書)
セットアップガイド (本書)

HVS-3355OU/OUA 梱包品

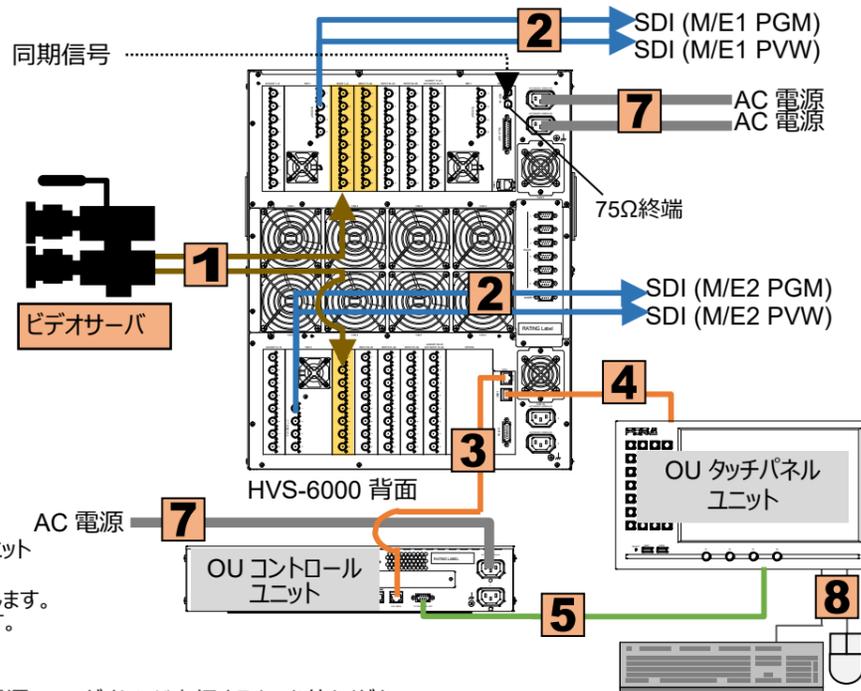
<OU ユニット構成>	<その他の梱包品>
コントロールユニット (1)	LAN ケーブル (6)
タッチパネルユニット (1)	RS-422 ケーブル (1)
AUX BUS ユニット (1)	AC 電源ケーブル (1)
LINE ユニット (3)	DC 電源用キャノンケーブル (5)
	コントロールユニット取付金具 (1)

FOR.A

24h サービスセンター 03-3446-8575
365 days

1. 接続

- カメラやビデオ機器から映像信号 (SDI 信号) を入力します。
- 合成出力 (SDI 信号、PGM/PVW 出力) を後段の機器に接続します。
- 付属の LAN ケーブルで、**メインユニット (MU)** と **OU コントロールユニット** を接続します。**LAN1 (MAIN)** 同士を接続してください。
- MU** と **OU タッチパネルユニット** を接続します。付属の LAN ケーブルを使用して、**LAN2 (SUB)** 同士を接続してください。
- 付属の RS-422 ケーブルを使用して、**OU コントロールユニット** と **OU タッチパネルユニット** を接続します。(詳しくは下記 2 章を参照)
- OU AUX BUS ユニット、OU LINE ユニートを OU コントロールユニットに接続します。(詳しくは下記 2 章を参照)
- 付属の AC 電源ケーブルを使い、**MU**、**OU コントロールユニット** に AC 電源を供給してください。
- 必要に応じてマウス、キーボードを **OU タッチパネルユニット** の USB ポートに接続してください。
- OU タッチパネルユニット** 背面の電源スイッチを ON にします。**OU (コントロールユニット)** の電源スイッチを ON にします。**MU** の電源スイッチを ON にします。



※ MU の電源ケーブルを外すときは、電源を OFF 後、電源 LED がオレンジ点灯するまでお待ちください。

2. OU コンポーネントユニットの接続

LAN 接続

付属の LAN ケーブルを使用し、AUX BUS ユニット、LINE ユニートをそれぞれコントロールユニットに接続します。LINE ユニット 1、2、3 は、接続するコントロールユニットのポートによって決まります。

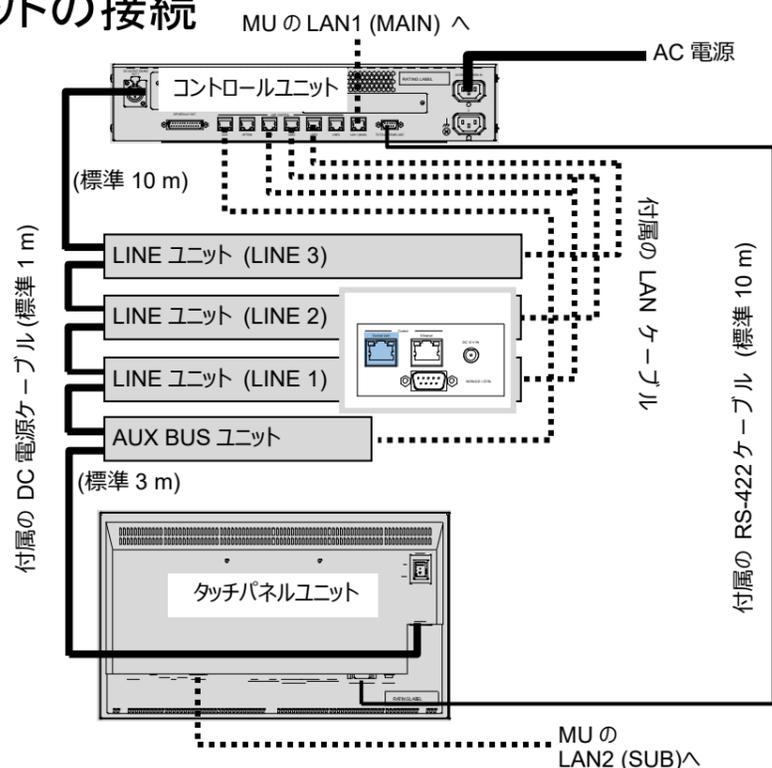
RS-422 接続

付属の RS-422 ケーブルを使用し、コントロールユニットとタッチパネルユニットを接続します。コントロールユニットの TO TOUCH PANEL UNIT ポートとタッチパネルユニットの TO CONTROL UNIT ポートをつないでください。

電源接続

付属の DC 電源ケーブルを使って、コントロールユニットと他のユニットを、右図のようにデジチェーン接続します。接続の順序は問いませんが、タッチパネルを接続の最後に配置してください。

通電中に電源ケーブルを抜き差ししないでください。



※ タッチパネルユニット、LINE ユニット、AUX BUS ユニットには、AC アダプタを使って電源を供給することもできます。AC アダプタを使用する場合は、DC12V IN へ入力してください。

3. システムモードの選択

- タッチパネル左の **[SYSTEM]** メニューボタンを押します。画面左側にある **SYSTEM** タブをタップして、**[SETUP > SYSTEM > SYSTEM]** メニューを開きます。
- FORMAT** 設定をタップします。**[F1]** のつまみを回し、使用するビデオ信号のフォーマットを選択し **[F1]** を押します。
- MU REBOOT** をタップします。確認ダイアログで **YES** をタップします。再起動後、スイッチは指定したフォーマットに切り替わります。

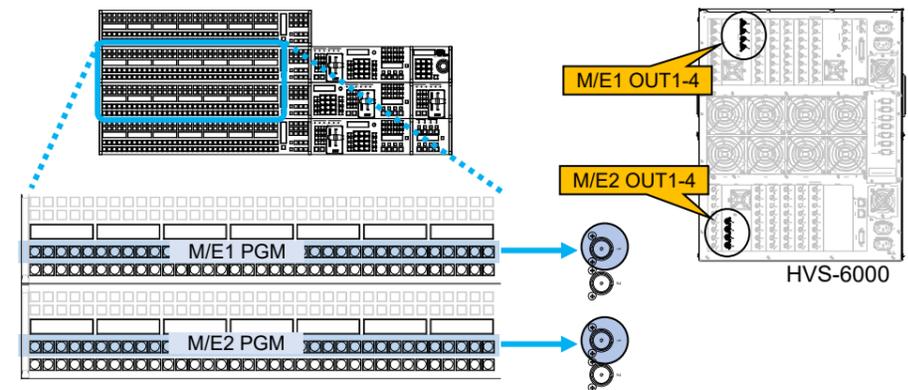
4. 出力映像を選ぶ

M/E1PGM の映像を選ぶ

M/E1PGM 列のボタンを押します。ボタンのソース映像が **M/E1 OUT1** 出力に表示されます。

M/E2PGM の映像を選ぶ

M/E2PGM 列のボタンを押します。ボタンのソース映像が **M/E2 OUT1** 出力に表示されます。



5. バックグラウンドのトランジションを実行する

M/E の BKGD トランジションの操作手順を説明します。

- PST 列のボタンを押し、ネクスト映像を選びます。
 - CUT** を押しと **CUT** トランジションが実行されます。**MIX**、次に **[AUTO]** を押しと **MIX** トランジションが実行されます。**WIPE**、次に **[AUTO]** を押しと **パターン** トランジションが実行されます。フェーダを端から端へ動かして、トランジションを実行することもできます。
- ※ 他のパターンを選ぶときは、**[WIPE]** をすばやく 2 度押しでメニューを表示します。**[F3]** を回してパターン番号を選びます。
※ トランジションを実行すると、バックグラウンドはネクスト映像に切り替わります。映像が切り替わると、PGM 列と PST 列の映像信号もスイッチします。

6. KEY のトランジションを実行する

M/E2 の KEY1 を使ってロゴを表示する場合の手順を説明します。IN11、IN12 にロゴの FILL/KEY 信号が入力されているものとします。

- タッチパネル左の **[KEY/FLX]** メニューボタン、次に **[M/E2]** メニューボタンを押して **[FUNCTION > KEYS DSK > SRC/INS > M/E2]** メニューを表示します。
- [F1]** を回し **TYPE** 項目を **BUS** に設定します。
- [F3]** を回して **INSERT SIGNAL (fill)** 項目で **IN11** を選択します。
- [F4]** を回して **SOURCE SIGNAL (key)** 項目で **IN12** を選択します。
- KEY1 ON AIR** を押しと、KEY1 が PGM 映像にカットインします。(KEY1 が画面に表示されているとき、**KEY1 ON AIR** が点灯します。)
- KEY1 AUTO** を押しと、KEY1 が PGM 映像からフェードアウトします。

